

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成25年2月4日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
兵庫県養父市市有林森林管理プロジェクト			
【依頼者】 プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	兵庫県森林組合連合会 (ヒョウゴケンシンリンクミアイレンゴウカイ)		
住所	兵庫県神戸市中央区北長狭通 5-5-18		
代表者氏名	石堂 則本	代表者役職	
担当者氏名	浦上 尚己	担当者 所属部署・役職	環境ビジネス推進室 室長
担当者 E-mail	hyogomori@hyogomori.jp	担当者電話番号	078-341-5082
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	養父市 (ヤブシ)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	養父市 (ヤブシ)		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	SGS ジャパン株式会社		
検証機関名	SGS ジャパン株式会社		

プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4 ケタ)	0230
プロジェクト登録日	2012 年 11 月 20 日
プロジェクト概要 ¹	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>養父市の森林面積は 35,583ha で、市総面積の約 84%を占めています。また、スギ・ヒノキ等の人工林は森林面積の約 61%を占めており、戦後、植栽されたものが増えてきています。</p> <p>しかし、林業の採算性の悪化などにより、手入れの行われない人工林が増えてきており、養父市においても、広大な森林に対する整備費の負担は大きくなっています。そのため、適切な森林整備が行われていない民有林が多くなる中、率先して本取組を行うことで、森林所有者の整備意識の向上を図るとともに、更なる市有林の整備に繋げていくことを目的としています。</p> <p>本プロジェクトは、全体総括、モニタリング計画書、モニタリング報告書の作成者として兵庫県森林組合連合会、森林所有者及び施業実施者の養父市、モニタリング実施者の養父市森林組合の三者で「森林経営活動による CO2 吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）」に取り組むこととしています。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <p>プロジェクト実施地は、森林法第 5 条に規定される地域森林計画に定められた森林で、森林施業計画において主伐や転用は計画されておらず、2007 年 4 月 1 日以降に計画に基づき施業された森林であり、円山川地域森林計画書、養父市森林整備計画書にもとづいて森林施業計画書を作成・認定のうえ施業しているため、市が定めた間伐を実施すべき標準的な林齢及び方法で間伐が実施されている。</p> <p>【法令遵守状況】</p> <p>関連法令については、森林・林業基本法及び森林法があるが、森林・林業基本法第 9 条について、森林所有者は森林の整備・保全に努めている。また、森林法第 5 条及び第 11 条について、当該森林は第 5 条地域森林計画に定められた森林であり、第 11 条に定められた森林施業計画について養父市長の認定を受けている。</p>

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関する内容を3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

【採用技術】					
機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	使用者	備考
バーテック スIV	Haglof社	5年	2009年7月	兵庫県森林 組合連合会 養父市森林 組合	樹高測定
			2011年7月		
Trimble GPS Pathfinder SB	Trimble社	5年	2009年7月	兵庫県森林 組合連合会 養父市森林 組合	緯度経度測 定/プロット 設置、測量/ 樹種界・林 齢界測量
TruPulse 360b	LASER TECHNOLOGY 社	5年	2009年7月	兵庫県森林 組合連合会	測量/プロッ ト設置
ポケットコ ンパス	牛方商会	8年	2006年	養父市森林 組合	測量/面積測 量
巻尺	HATAS	5年	2006年7月頃	養父市森林 組合	測量/面積測 量
Assist office 森林 版	(株)ジツタ	5年	2006年7月頃	養父市森林 組合 兵庫県森林 組合連合会	測量ソフト (株)マイクロ システムの 森発見ProA を併用。
直径巻尺	ムラテック KDS(株)	2年	2009年3月	養父市森林 組合	直径 測定

【モニタリング方法】

モニタリングはガイドラインに基づいた方法で行う。また地位特定のためのモニタリングプロットの設置は、ガイドラインに基づき下記のとおり行う。

- ①30haあたりに1箇所、樹種ごとに小班を抜き出し、設置する。
- ②小班が斜面に位置している場合は中腹に、斜面がない場合は小班の中心部分にモニタリングプロットを設置する。
- ③モニタリングプロットは、その小班の平均的な林相・地形を持つ箇所を選ぶ。
- ④モニタリングプロットは正方形または長方形で、1辺の長さがその小班における最大樹高以上とする。

【GHG 算定式の方法論への準拠性】

当プロジェクトは、森林経営活動による CO2 吸収量の増大（間伐促進型プロジェクト）に関する方法論に基づき、グロスネット計上方式により森林経営活動による森林吸収量を算定しており、方法論に準拠している。

【モニタリング体制】

プロジェクト事業者である養父市が作成した森林施業計画書に基づいて、プロジェクト参加者である養父市森林組合がモニタリングを実施する。モニタリング結果を受けて兵庫県森林組合連合会の吸収量算定担当者がデータを集約し、報告書を作成する。報告書確認者は兵庫県森林組合連合会環境ビジネス推進室長、責任者は参事、承認者は専務理事とする。


また、市町村森林整備計画は養父市より、収穫予想表・林分材積表及び地域森林計画書は兵庫県林務課よりデータ提供を受ける。

		<p>【QA / QC 体制】</p> <p>教育・訓練については兵庫県森林組合連合会が組織内及び養父市森林組合に対して、モニタリング体制等について教育を行い、品質の維持に努める。</p> <p>文書保存期間については平成 35 年 3 月 31 日までとし、電子データは定期的なバックアップを行うこととする。また、データの確認は、吸収量算定担当者が二度入力により、入力ミスがないか確認する。更に適切な処理がなされているか、内部監査員を任命し、内部監査を行う。</p> <p>測定機器の管理については、J-VER 調査担当者がモニタリング前に機器の点検を行い、その実施結果を残すこととする。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p> <p>特になし</p>					
モニタリング結果概要 ²		<p><input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p>					
適用モニタリング方法ガイドライン		<p align="center"><u>オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン</u> (森林管理プロジェクト用) ver.4.2</p>					
適用方法論		方法論番号	R001 ver.6.2				
		方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト)				
モニタリング結果							
モニタリング期間		2008年4月1日～ 2012年10月31日					
<方法論R001・R002・R003のみ>		278.07ha					
モニタリング対象面積		278.07ha					
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	1,087	1,734	2,129	2,112	1,192	8,254
認証依頼削減・吸収量		<u>8,254t-CO2³</u>					

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

³ 合計の値から小数点以下を切り捨て、トン単位で記載してください。

	<p>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)を明記します。</p> <p>あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ ホームページ URL: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 出版物 (環境報告書/定期刊行物)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画(区域施策)の策定義務対象者(都道府県)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。</p> <p>制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他社に譲渡していないもの)は除きます。</p>
--	---

ダブルカウント防止措置責任者（プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要）			
事業者名	養父市 養父市長 広瀬 栄		
住所	養父市広谷 250-1		
代表者氏名	広瀬 栄	代表者役職	養父市長
担当者氏名	秋山 清	担当者 所属部署・役職	産業経済部農林振興課 参事
担当者 E-mail	nourinseibi@city.yabu.hyogo.jp	担当者電話番号	079-664-0284
備考欄			
特になし			

以 上